

中外製薬 企業展示・研究員によるオンライン説明会のご案内



- ◆ ブース展示で企業・事例紹介を行います。6/14開催のインダストリアルセッションにも登壇します。
- ◆ 研究員がAI活用事例を発表し、皆さんの質問に直接お答えします。下記の時間帯にオンライン企業展示（Zoom会場）にご参加ください。

・ 6月15日（水） 13:00-14:00

・ 6月17日（金） 13:00-14:00

発表① 「MALEXA®：機械学習技術による抗体創薬プロセスの変革」

白井和英（中外製薬研究本部創薬基盤研究部データサイエンスG）

中外製薬は、独自の抗体創薬プラットフォームおよび抗体エンジニアリング技術を基盤とした抗体創薬を展開しています。「MALEXA®: MACHine LEarning X Antibody」とは、抗体創薬プロセスで得られる種々の実験データに機械学習技術を適用することで、抗体創薬の効率化や成功確率の向上を目指す新たな技術です。我々は、MALEXA®によってもたらされた抗体創薬プロセスの変革を通し、革新的な医薬品の連続的な創出に取り組んでいます。

発表② 「ラット性周期の自動判別を可能とするデジタルパソロジストの開発」

江上陸（中外製薬研究本部創薬基盤研究部データサイエンスG）

創薬の非臨床安全性試験において、実験動物の雌個体の性周期評価は不可欠です。これまで雌性生殖器の病理標本を専門家(パソロジスト)が観察し、判定を行ってきました。近年、深層学習を用いた画像解析技術が急速に進歩していることを鑑み、我々は病理画像から性周期を自動で判別する新規の深層学習ワークフローを開発しました。その結果、専門家の判定基準と同等で高精度な性周期判定が可能となる“デジタルパソロジスト”に成り得ることが確認され、本技術の適用により創薬プロセスの効率化に繋がると考えています。